

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R6-7
②	研究課題名	単純X線像から新規骨粗鬆症性椎体骨折を識別するための深層学習モデルの開発と評価
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	本研究の目的は、単純X線像を用いて新規OVFを高精度で識別できる深層学習モデルを開発し、その診断能を評価することである。脊椎圧迫骨折症例(骨折あり群)と腰部脊柱管狭窄症症例(骨折なし群)のそれぞれの単純X線像(腰椎正面、側面、前屈位、後屈位、座位、仰臥位など)を抽出し、CD-Rなどに出力する。
④	利用または提供する情報の項目	単純X線像(腰椎正面、側面、前屈位、後屈位、座位、仰臥位など)の画像データ
⑤	対象者及び対象期間	2018年1月-2024年10月に済生会小樽病院を受診した、20歳以上の脊椎圧迫骨折症例(骨折あり群)と腰部脊柱管狭窄症症例(骨折なし群)
⑥	利用の範囲	研究者および研究代表者。全国学会や国際学会で発表し、論文報告する。
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【整形外科 診療部長 織田崇 / 医長 濱田修人 】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。